

文部科学省におけるユネスコ教育関係予算案について

ユネスコとの連携によるグローバル人材育成 268百万円(282百万円)

近年のグローバル化をはじめとする国際社会の多様性に対応するユネスコの取組と連携して、我が国のユネスコ活動の活性化および国内外における持続可能な開発のための教育(ESD)の一層の推進を図るなど、国際的に活躍できる人材育成に資する事業を展開する。

日本/ユネスコパートナーシップ事業 80百万円(73百万円)

国内のユネスコ活動に関係のある機関等の活動強化を通じて、ユネスコ活動の普及と理解の促進を図り、ユネスコの理念・目標の実現を目指す。従来のユネスコスクール支援事業、ユースフォーラム開催等に加え、学校におけるESDの取組を更に効果的に推進するため、新たに「ESD実践の手引(仮称)」の活用による研修実施やESD先進重点校の選定・支援等を行う。

また、地質学的遺産の保護と国際的な認定を目的としたジオパーク事業がユネスコの正式事業化したことから、ジオパークを活用したユネスコ活動推進事業を行う。

グローバル人材の育成に向けたESDの推進 61百万円(57百万円)

教育委員会及び大学が中心となり、ユネスコ協会及び企業等の協力を得つつ、ESDの推進拠点であるユネスコスクールとともにコンソーシアムを形成し、国内におけるESDの実践・普及及び国内外における学校間の交流等を促進する。

ESDグローバル・アクション・プログラム(GAP)信託基金 126百万円(152百万円)

「ESDグローバル・アクション・プログラム(GAP)」に明記されている優先行動分野に重点的に取り組み、ESDを戦略的により一層推進するため、ユネスコに信託基金を拠出し、「地域コミュニティ」、「教育者」、「ユース」等に関する事業を実施する。

平成 28 年度 「持続可能な開発のための教育」(ESD)

関連予算案額について

環 境 省

平成 28 年 1 月

「国連 ESD の 10 年」後の環境教育推進費 218 百万円(45 百万円)

1 .~~新~~ ESD 活動支援センター(仮称)運営等経費 35 百万円(22 百万円)

多様な主体が参画・連携し、ESD 活動に取り組む地域の活動拠点の形成を推進・支援するとともに、実践者の声を踏まえ、情報の一元的な発信、ネットワークの構築、地域の活動支援、国際的な情報の発信や交流支援及び調査研究等を官民協働で実施し、GAP や国内実施計画等に定められた ESD に関する取組を着実に推進していくための ESD 活動支援センター(仮称)を整備し、その運営を行う。

(1)~~新~~ ESD 活動支援センター(仮称)維持費 13 百万円(1 百万円)

(2) ESD 活動支援センター(仮称)事務局活動推進費 22 百万円(20 百万円)

2 .~~新~~ 環境教育・ESD 基盤強化(人づくり・拠点づくり)促進事業
183 百万円(23 百万円)

懇談会において、環境省における ESD に向けた課題とされた「人材育成」、「教材・プログラムの整備」及び「連携・ネットワーク化」について、「ESD 活動支援センター(仮称)」と連携し、環境教育・ESD の更なる促進のための人づくり・拠点づくりを計画的に進める。

(1)~~新~~ 人材育成事業 18 百万円(0 百万円)

(2)~~新~~ ESD 推進のための先導的地域拠点整備事業 144 百万円(0 百万円)

(3) 環境教育・学習資料等の収集・提供及び教材の作成事業
10 百万円(11 百万円)

(4) 地域における ESD の相互連携推進事業 11 百万円(12 百万円)